

# 2026 秋

## 《伝道礼拝へのお招き》

10月の伝道礼拝のテーマは「神の保障」です。

10月25日に説教して下さる荒井偉作牧師は、宮城県の名取教会の牧師をされていますが、40年前にこの教会の開拓伝道に神学生として小海牧師が関わり、伝道所として開所されると同時に上京、東京神学大学大学院の学びが始まったという深い関係があります。また荒井先生は学生時代に当教会が近隣の4つの教会で行っていた「4教会中高生キャンプ」のリーダーとしても大活躍してくださいました。

荒井先生は以下のような長い略歴を送ってくださいました。

「68年東京衛生病院生まれ、三鷹市大沢3丁目育ち。8歳から5年半を東南アジアで過ごす。学校生活に苦しみ陰鬱な少年は、寮のあるキリスト教高校で心身を鍛えられる。2年次に1年間休学し両親と共にジュネーブで過ごす。謎の言語フランス語と格闘。高校4年間で「教育こそ平和の要」と確信し教員を目指す。偶然入学できた故郷の大学で心理学や言語学を学んだ後、教育実習の現場で教員としては未熟な自分の現実に直面、モラトリウム大学院計画も頓挫しキリスト教の財団法人に2年間勤務、全国の教会をドサ回り。不思議な導きで自由学園教員となり、9年間生徒と共に学ぶ。結婚を諦めた矢先、インドネシアの山奥で出会った仙台人と結婚することに。彼女の待つ仙台へ移住、これまでに宮城県の人口を4人増やす。偶然が重なって東北学院キリスト教学科で学びを開始、震災直後の名取教会で牧師人生のスタートを与えられた。平日は大学、看護学校で教鞭をとる。趣味はPTA改革」。

荒井先生は現在、名取教会を牧会しながら東北教区総会議長としても活躍しておられます。開拓伝道のまだ何も無かった時に関わった一人としてつくづくと思うのですが、40年後にまさか東北教区全体の責任を負う牧師を出す教会にまで成長するというのは、本当に驚きです。神様の「保障」は私たち人間には感じられないように思えても、その確かな手ごたえを私たちは今こうして感じる事が出来ます。そうした聖書の世界に触れてみませんか？

10月11日(日) 伝道礼拝 午前10時30分～

「しるしを超えて」

荻窪教会牧師

こかい  
小海

もとい  
基



東北学院大学キリスト教学科、東京神学大学大学院修了、当荻窪教会牧師に就任。1989年～1991年イーデン神学校留学。農村伝道神学校講師。小諸いずみ会「いのちの家 LETS」理事長。『こどもさんびか』の作曲、『讃美歌21』編集、著書に『聖餐イエスのいのちを生きる』（新教 出版社 共著）、『牧師とは何か』（日本キリスト教団出版局 共著）などがある。

10月18日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「明日のことまで思い悩むな」

荻窪教会副牧師

りゅうぐち なりこ  
龍口 奈里子



関西学院大学大学院修了後、塚口教会担任教師。

1985 年～ 東京女子大学キリスト教センター宗教主事。

1993 年～ 当荻窪教会副牧師。

10 月 25 日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「主の山に、備えあり」

名取教会牧師

あらい いさく  
荒井 偉作



1968 年荻窪で生まれる。国際基督教大学卒業後、自由学園教師、その後東北学院大学文学部キリスト教学科卒業後、名取教会の牧師を続けている。現在東北教区総会議長。

10 月 25 日(日) 全体修養会 午後 12 時半頃～

「右にも左にもそれてはならない」

荒井 偉作牧師

#### 【秋のコンサートのご案内】

- ・オルガン デュオ コンサート 教会ソナタの世界  
10月12日(月) 14時開演 入場無料
- ・ヴァイオリンとパイプオルガンによる Autumn Concert  
10月18日(日) 17時開演 入場無料
- ・荻窪音楽祭 11月7日(土) 13時30分～ 入場無料  
(詳しくは荻窪音楽祭の冊子をご覧ください)